

Super GT Round 5 応援ありがとうございました！



Super GT Round 5 Report

Date : 2017 年 8 月 6 日 Event : Super GT Round 5 Team : JLOC Class : 300class

Driver : 織戸学 平峰一貴 Car : Lamborghini Huracan GT3 Circuit : Fuji Speedway

Free Practice 8:50-10:25

- ・ Car Balance Check Tire MH Compound

走り出しは織戸選手が担当し、Rr の動きが大きい事で Rr の Spring レートを下げる方向に変更

- ・ 自身に交代し Car Balance Check

路面状況が変化する中で確認を行うと Balance は U/S 傾向。Fr の初期反応も薄く、Mid から Exit に掛けて強い U/S。とても舵角が多くなってしまう。

- ・ Fr ARB の剛性を低く変更

メカニカルで Fr の反応は良くなったが、そもそもの Fr の剛性が高い様に感じた。またメカニカルの剛性具合と D/F のバランスが合っていないように感じた。ここでは、Fr の Spring レートを下げればとせれば良くなる様に思えた。

- ・ Pit Stop エンジンシステム

1st Gr、 Lit Limiter On、 Start Button(Kill Ready)、 2km 以下でエンジン Killed

クラッチ握る、ジャッキダウン、エンジン始動。これらが正常に作動したことを FP で確認出来ました。

Q1 織戸学 担当 P16 Time 1' 38.905 総合 P16

- ・ 織戸選手、Q1 担当

不運もあり、他車のトラフィックによってタイムロスしましたが、最小限に抑えられました。

予選後に決勝に向けての作戦をしっかり話し合い、織戸選手がスタートを担当することになりました。

300km Race Stint 順 : 織戸学、平峰一貴 Fin : P7

- ・ 織戸選手スタートを担当

ミニマム周回数でピットインを予定していましたが、ペースが他に比べて良かったので、少し引っ張る事に作戦を変更。他車のトラブルや Pit In もあって 13 番手に浮上。

- ・ 28Lap 目で Pit In ドライバー交代、タイヤ 4 輪交換

Pit 作戦で#33 号車に抜かれる。ポルシェは燃費が良いので給油時間が短い。

- ・ ワンチャンスを逃さず、前の車を仕留める

出来るだけ、時間が掛からないようにオーバーテイクをするよう心掛けていました。

- ・ 8.5 割の走りに集中

最初は 8 割と 9 割の走りをしようと考えていましたが、ポイント圏内に入り前とのギャップも詰まっていたので 8 から 8.5 割に切り替えて走っていました。いつも以上に平均心拍数が上がっている様にも感じられましたが、富士ではストレートが長い為、しっかり深呼吸を行う時間があったので上手く機能出来ました。

- ・ レース中 Car Balance

基本的には U/S だが O/S もある。しかし U/S でのタイムロスが強く感じられて、特に Sector3 では舵角量が半端なく多かったです。Sector3 での U/S は Fr Spring の硬さからくる物で荷重が十分に掛けれない。

Fr Spring が硬い事でタイヤへ直に荷重が掛かっているイメージ。Spring というよりタイヤがロールして Rr の内輪を持ち上げてしまっていました。今後は Fr Spring レートを落として、しっかりフロントを入れたい。そして早めに Br をリリースして Rr 荷重に戻せるようにしたい。

Summery

今シーズン初のポイント圏内7位で終える事が出来ました。

ここ数戦は非常に苦戦を強いられており、もうこれ以上落とす事は出来ない。この崖っぷちの状況を何とか脱出して流れを変えなければと強く思っていました。富士に入るまで、色んな準備を行ってきましたが今大会で結果に結びつけることが出来、チームの皆さん応援して頂いている全ての皆さんに感謝しています。

次戦は第6戦鈴鹿1000kmが待ち受けています。あまり時間が無いので、エンジニアと織戸選手と話し合いしっかり準備を進めて行きます。次戦も応援、宜しくお願いします。

KAZUKI HIRAMINE